

令和4年度「民間プール等活用モデル事業」について

1. 学校プールの今後のあり方について

○小学校の水泳授業について、民営または公営プールを使用し、インストラクターを活用した効果的な水泳指導に移行していく。

※小学校のプール施設は廃止していく。

※全小学校に拡大した場合は、施設の受け入れ可能数を勘案し、年間の水泳授業が減ることもある。

○中学校の水泳授業については、従来通り自校のプールで実施する。

2. 事業の概要

(1) 実施時期及び回数

- ・実施時期 5～11月（インフルエンザのまん延や、移動時の寒さを避けるため12～3月は実施しない）
- ・実施回数 年間4回（1回65分（2単位時間）×4回＝年間8単位時間）

(2) 実施方法・内容について

- ・原則2クラス合同実施（担任2名＋インストラクター2名）
- ・メイン指導者は教員。担任2名のうち、1名がメインで指導。1名がサブとして水中で補佐。
- ・インストラクターは教員の補佐。インストラクター2名は、メイン指導者（担任）の指示のもと、水中での補佐、模範演技、全体へのアドバイスなどを行う。ただし、泳力10m以下の児童を集中的に指導する場合などは、インストラクターがメインで行うこともある。
- ・授業内容は、教員が「水泳指導例（教育委員会作成）」や「水泳検定級（各校独自に作成）」をもとに考え、事前に事業所と打ち合わせをする。
- ・特別支援学級は、5～16人で1クラス、17人以上で2クラスとして実施。通常学級での実施が可能な児童は交流学級等で実施。1～4人の場合は、低学年と同時実施して担任が指導。

(3) 「水泳指導例」について

- ・事業所ごとに、低学年、中学年、高学年、特別支援の4パターンを教育委員会で作成済み。
- ・「指導例」をもとに、各学校と事業所で事前に打ち合わせをした上で、授業に臨む。
- ・令和4年度に授業を実施した状況を集約して、「指導例」の改訂を行う。

(4) 新型コロナウイルス感染症対策（自校プール使用の小中学校についても下線部の対策を実施）

- ・準備体操時もマスクを着用する。（自校プールで、十分な距離がとれて安全対策が徹底できる場合はこの限りではない）
- ・教員は指導中マスク着用。水中指導時はプール用マスク着用（右図参照）
 - 陸上指導のみの場合…日常使用のマスクでも可
 - 水中指導の場合…プール用マスク
- ・タオルはビニール袋等に入れて、他の子のタオルとの直接接触を避ける。
- ・体操時などの児童（生徒）の掛け声はなしとする。
- ・体調不良者は、学校待機とする。
 - ※怪我等による見学の扱いについては、学校裁量とする。
- ・施設入退所時に、手のアルコール消毒を行う。
- ※施設側…児童使用前の館内消毒、入口にアルコール消毒液準備



【プール用マスク例】

3. 民間プール等へ完全移行した小学校のプール施設について

- ・消防署に連絡後、水を抜いておく。
- ・今後のプール解体、施設利用については、時期も含め検討中。

4. 実施校について（予定）

	実施学級数	施設	移動手段	
			徒歩	バス
	R4			
東田	16	グランドパシフィック スポーツ倶楽部		●
鷹丘	25		●	
嵩山	2			●
高師	25	パシフィックスポーツ 倶楽部豊橋	● (3~6)	● (1・2・特)
栄	12	アイクスNEO		●
多米	4	アスカスポーツ いむれ		●
飯村	22		●	
松葉	18	アスカスポーツ こもぐち	●	
下地	4			●
松山	11	アスカスポーツ こいけ		●
羽根井	4			●
豊	14	サ-ラスポ-ツ	●	
八町	14	アクアヴィータ		●
向山	14		●	
つつじが丘	19	コナミスポ-ツ		●
牟呂	8	アクアリーナ		●
吉田方	27			●
野依	13	りすば		●
天伯	4			●
学級数	256	—	6	14
学校数	19			

※学級数の太字は全学年実施を示す

※嵩山小は3学年を1学級としてカウント(インストラクタ-1名追加配置)

※特支5~16人は1学級、17人以上は2学級でカウント、0~4人は通常学級で実施